

# 平成 28 年度 施策評価表

施策 (章)	第 8 章『行財政運営』
-----------	--------------

まちづくりの目標	効率的・効果的な行財政運営により総合計画を進めます				
分野別計画・指針	所沢市人口ビジョン、所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略、所沢市第6次行政改革大綱「行政経営」有言実行宣言、第2次埼玉県西部地域まちづくり構想計画(ダイアプラン)、所沢市定員管理計画、所沢市特定事業主行動計画《第3次》、所沢市ICT 推進アクションプラン2015-2018、中長期財政計画、所沢市収納対策基本方針				
予算額	平成28年度当初予算	98,950 百万円中	10,600 百万円	構成率	10.7 %

基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針	
◆ 効率的・効果的な行政運営の推進	
◆ 市有財産の有効活用と適正管理	
◆ 計画と評価の連動による効果的な資源配分の推進	
◆ 適正規模の予算編成	
◆ 市政情報の共有化と市民参加の拡充	
◆ 職員の意識改革による行政の効率化とスリム化の推進	
◆ PDCAサイクルの着実な実行と進捗状況の管理	

基本構想で掲げた《市の課題・方向性》への取り組み状況に対する振り返り	
<p>○行政経営推進委員会や市民の意見を伺いながら、改革改善を職員等が主体的、自主的かつ機敏に取り組むことを重視する第6次所沢市行政改革大綱を策定した。</p> <p>○「所沢市公共施設等総合管理計画」を策定し、全ての公共施設を対象に、総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を定めた。</p> <p>○次世代育成支援対策推進法および女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、職員の仕事と子育ての両立支援と、女性職員がより能力を発揮できる環境の実現に向け、所沢市特定事業主行動計画《第3次改定版》を策定した。</p> <p>○民間企業経験者採用を引き続き実施し、組織活性化のエンジンとなりうる人物の採用と適正な人事配置を行った。</p> <p>○次年度以降の財政予測を踏まえ、総合計画における実施計画、事務事業評価等の結果を勘案して予算編成を行った。</p>	

基本構想で掲げた《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》の実行にあたって、特に力を入れていくこと。	
<p>○第5次所沢市総合計画 後期基本計画を効果的に進めるため、実施計画に具体的な方策を示し計画的な市政運営を行う。</p> <p>○職員採用試験について、これまでの秋実施の採用試験に加え、新たに春の採用試験を実施し、より優秀で多様な能力をもつ職員を確保する。</p> <p>○所沢市人材育成基本方針に基づき人材育成に継続的に取り組むとともに、適材適所の考えに基づく人事配置により組織全体の能力向上を図る。</p> <p>○総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け、中長期財政計画や実施計画等に基づき、効果的な財源配分を行う。</p> <p>○様々な市民の意見、市民団体・事業所等の先進的な取り組みや意見を把握して市政に反映させ、市民に紹介する取り組みを推進する。</p> <p>○新たな情報発信手段に注目し、その活用を検討していく。</p>	

評価日	H28. 7. 22	記入者職氏名	経営企画部次長 粕谷 信由
-----	------------	--------	---------------

節	指標	単位	〈H25〉 現状値	H27年度 実績	H27年度 目標値	H28年度 目標値	将来目標 (H30)
第1節 行政経営	総合計画に掲げた目標指標の達成率	%	89	93	100	100	100
	行政改革大綱「行政経営」有言実行宣言に掲げた目標の達成率	%	66.7 (H24)	80.3 (H26)	100.0	70.0	90.0
	窓口サービスへの市民の満足度	%	97	97.7	100	100	100
	相互利用施設利用者数	人	505,447	549,801	507,000	508,000	510,000
	仕事に「やりがい」を感じる職員の割合	%	-	66	80	80	80
第2節 財政運営	経常収支比率	%	94.0	92.2	94.0%以下	94.0%以下	94.0%以下
	実質公債費比率	%	3	1.5	6.0%以下	6.0%以下	6.0%以下
第3節 情報の共有と市民参加	市ホームページの年間アクセス件数	千件	10,790	17,192	10,890	10,940	11,040
	市の情報発信に対する満足度	%	54	60	58	60	64
	市民参加のしくみの認知度	%	56	53.5	現状値 以上	現状値 以上	現状値 以上

第1節	行政経営	限られた資源を有効活用しながら、戦略的かつ自立(自律)的な行政経営を行うまち			
基本方針	8-1-1 総合計画の実現に向けた計画行政の推進				
	8-1-2 行政経営の考え方に立った改革の継続				
	8-1-3 自治体間の連携の推進				
	8-1-4 組織体制の整備・充実				
	8-1-5 ICTを効率的に活用した市民サービスの向上				
関係所属	企画総務課、経営企画課、IT推進課、文書行政課、職員課、契約課、工事検査課、管財課、営繕課 ほか				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		663人	31.2%	24位	3位

節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○第5次所沢市総合計画 基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けて、後期基本計画に基づき計画的に各施策を実施した。</p> <p>○埼玉県西部まちづくり協議会の構成市における自治体間連携の取組として、調整会議を通じた情報交換や公共施設相互利用等を実施した。</p> <p>○行政経営推進委員会や市民の意見を伺いながら、改革改善を職員等が主体的、自主的かつ機敏に取り組むことを重視する第6次所沢市行政改革大綱を策定した。</p> <p>○「所沢市公共施設等総合管理計画」を策定し、全ての公共施設を対象に、総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を定めた。</p> <p>○人事評価制度について、全職員が業務目標の設定と進捗管理を行うと共に、能力と実績に基づいた人事評価を自己評価を含め試行的に実施した。</p> <p>○岩手県大槌町に職員2名を長期派遣し、被災地復興支援を継続的に進めた。</p> <p>○時間外勤務を削減し、ワークライフバランスを推進するため、時差出勤制度を本格的に導入した。</p> <p>○公共建築物修繕計画に基づき、コンピュータ機械室の空調設備を入替えサーバ等機器の適正な管理を図った。</p> <p>○サーバ仮想化計画に基づき、電子メールシステム、下水道施設管理システムのサーバ集約化を実施した。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○第5次所沢市総合計画 後期基本計画を効果的に進めるため、実施計画に具体的な方策を示し、計画的な市政運営を行う。</p> <p>○総合計画に掲げた目標指標のうち、達成できなかった項目について、その要因を探りPDCAサイクルによる見直し等を行うことで達成を目指す。達成した項目については、さらなる効果を生み出せるよう継続的に改善を図っていく。</p> <p>○第6次所沢市行政改革大綱を指針として引き続き職員の意識改革や効率的な行政経営を進めていく。</p> <p>○所沢市公共施設等総合管理計画に基づき、効率的な施設管理・運営に努めていく。</p> <p>○全職員に導入した人事評価制度を適正に運用し、能力・実績に基づいた人事管理と人材育成、面談を活用した風通しの良い組織作りを行う。</p> <p>○職員の健康維持と効率的な業務の遂行のため、時間外勤務を削減する取り組みを継続的に行う。</p> <p>○職員の長期派遣による被災地復興支援を継続する。</p> <p>○更なる情報セキュリティ強化に向けた対策を実施していく。</p>					
特に力を入れる事務事業	総合計画実施計画策定・管理事業	行政経営推進事業			
評価日	H28.7.22	記入者職氏名	経営企画部次長 粕谷 信由、総務部次長 青木 千明		

第2節	財政運営	歳入の確保と適正な歳出によって、健全な財政運営を行うまち			
基本方針	8-2-1 計画的な財政運営				
	8-2-2 財源の確保				
	8-2-3 受益と負担の適正化				
	8-2-4 財務の透明性の確保				
関係所属	経営企画課、財政課、管財課、工事検査課、市民税課、資産税課、収税課、出納室、監査事務局				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		780人	36.7%	12位	1位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○次年度以降の財政予測を踏まえ、総合計画における実施計画、事務事業評価等の結果を勘案して予算編成を行った。</p> <p>○未利用地(旧松原学園用地)の売却や「ふるさと応援寄附制度」を活用し、財源確保を図った。</p> <p>○特別徴収義務者の指定を進め、納税者の利便性及び納税率の向上を図った。</p> <p>○県職員1名の派遣を受け、収納困難事案等の解決に向けた体制を組織し、収納強化に努めた。</p> <p>○中長期財政計画のローリング版のほか、財政のツボ、財政トークスなどを発行するとともに、「市政トーク」の場において財政状況を説明するなど、積極的な財務情報の公表に努めた。</p>					

今後の方向性（「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容）

- 総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け、中長期財政計画や実施計画等に基づき、効果的な財源配分を行う。
- 利用計画の無い未利用地について、売却や貸付に向けた検討をし財源確保に努める。
- 口座振替の推進やその他の納付方法を充実させるとともに、効率的、効果的な滞納整理を推進し、収納未済額の削減を図る。

特に力を入れる事務事業	予算編成・執行管理事務	収納率向上対策事業	市有財産活用事業
評価日	H28. 7. 22	記入者職氏名	財務部次長 加藤 孝之、財務部収税担当参事 関口 裕教

第3節	情報の共有と市民参加	わかりやすい情報発信により市と市民が情報共有し、お互いを尊重して対話のできるまち
基本方針	8-3-1 市政情報の共有の推進	
	8-3-2 市民参加の推進	
関係所属	経営企画課、広報課、市民相談課	

施策に対する市民ニーズ（「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果）	要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
	711人	33.5%	18位	2位

節の基本方針への取り組み状況（前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析）

- 新たな情報発信手段として、無料のスマートフォンアプリ「i 広報紙」や「オーラズマ（AR機能）」を活用し、情報提供の機会の拡大と利便性の向上を図った。
- 市民等の自由な発想による提案を広く募集する取組、第3回目となる「『所沢を動かす！』みんなのアイデアコンテスト」を実施した。
- 情報公開、個人情報保護及び会議の公開については、様々な機会を捉えて適正な取り扱いが行われるように努めた。
- 審議会等の会議録等を配架やHPで公開することにより、市政運営や政策形成における会議の透明化に努めた。
- 様々な市民の意見を伺って市政に反映させるために「タウンミーティング」を行った。また、率先した活動を行っている市民団体や、先進的な取り組みを行っている事業所等の現場に市長が訪問し、その活動成果等を広く市民に紹介する「市長の“こんにちはは訪問”」を行った。

今後の方向性（「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容）

- 新たな情報発信手段に注目し、その活用を検討していく。
- 情報公開、個人情報保護及び会議の公開等の周知を図り、制度への一層の理解と適正な取り扱いを推進する。
- 様々な市民の意見、市民団体・事業所等の先進的な取り組みや意見を把握して市政に反映させ、市民に紹介する取り組みを推進する。

特に力を入れる事務事業	情報公開制度推進事業	市長の” こんにちはは訪問” 事業	
評価日	H28. 7. 22	記入者職氏名	経営企画部次長 粕谷 信由、市民部次長 鹿島 仁